

専 門 教 養
令和 4 年 7 月
60分

受 験 教 科 等
特別支援学校中学部 技 術

注 意

- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、16ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の選択問題を表す欄のマークは**不要**です。
- 8 この問題は、**教科等に関する問題** ① ~ ④、**特別支援教育の専門に関する問題** I ~ IVの各問題から構成されています。
- 9 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 10 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 11 問題の内容についての質問には一切応じません。

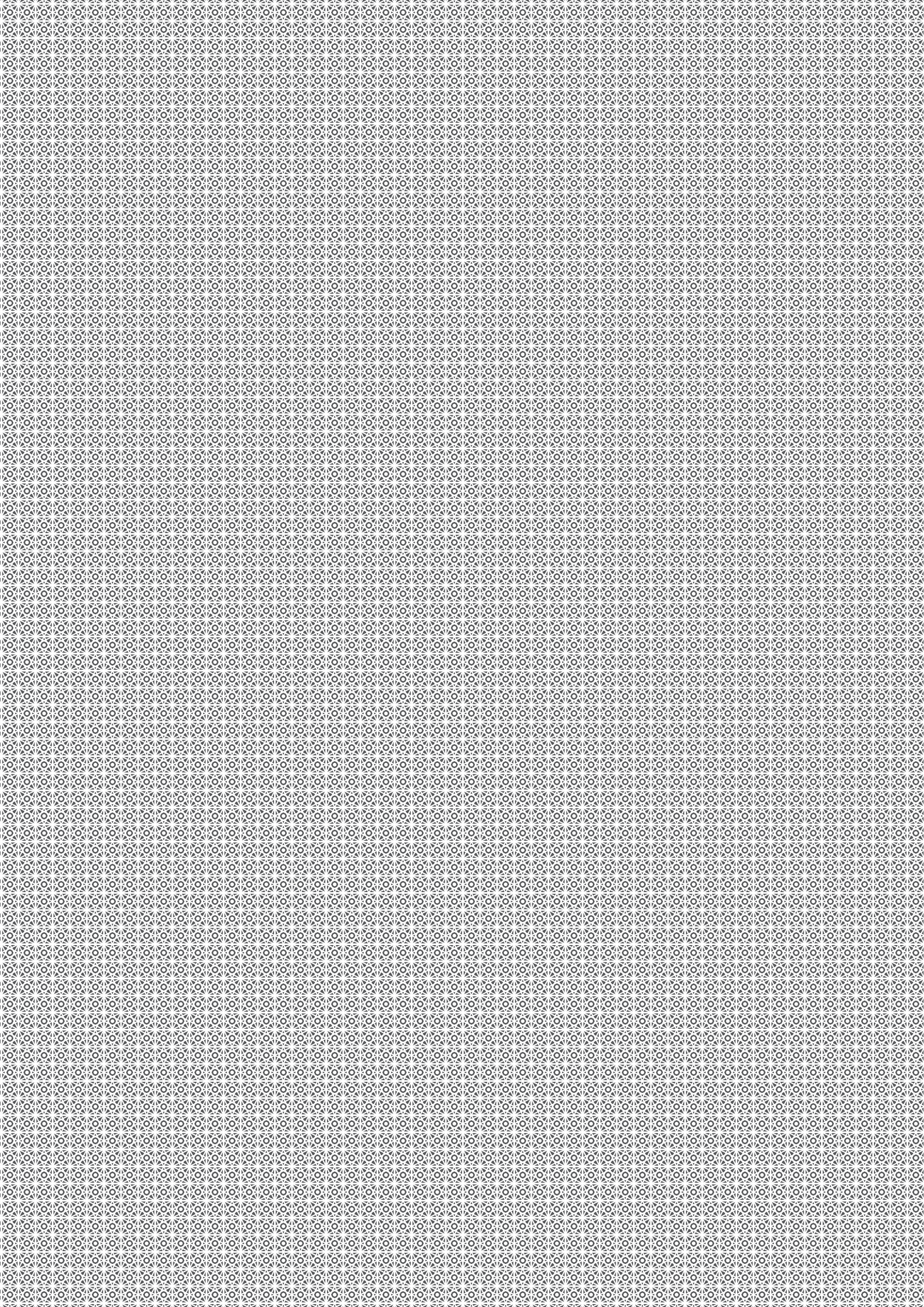
解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例1)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例1)

解答番号	解答欄
1	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

解答上の注意の続きを、問題冊子の裏表紙に記載してあります。問題冊子を裏返して必ず読んでください。



教科等に関する問題

1 材料と加工の技術に関する次の各問に答えよ。

[問 1] JISに基づいた製図に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **1**。

- 1 原図及びその複写図のサイズは、A列サイズ、B列サイズの順に選ぶ。
- 2 尺度5：1の図は、実物の5倍の大きさである。
- 3 図面には、2個の中心マークを設ける。
- 4 図面には、輪郭線の4辺全ての中央に方向マークを設けなければならない。

[問 2] 金属に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **2**。

- 1 アルミニウムは、JISの金属記号ではAで表される。軽くて延性、展性に富み、加工しやすい。アルミニウム合金は航空機や飲料缶に使用される。
- 2 鉛は、JISの金属記号ではPbで表される。X線の遮へい力、耐食性にすぐれ、融点が高く溶けにくい。蓄電池や防音材に使用される。
- 3 チタンは、JISの金属記号ではTで表される。常磁性で、熱伝導度、熱膨張率が小さく、非常に軟らかい。チタン合金は航空機やスポーツ用品に使用される。
- 4 銅は、JISの金属記号ではMで表される。電導性、熱伝導性が高く、軟らかくて加工しやすい。電気機器の配線や建築装飾材料に使用される。

[問 3] 生産に関する記述として適切なものは、次の**1**～**4**のうちのどれか。解答番号は **3**。

- 1 CNCは、自動的に何種類もの工具を交換しながら各種の加工作業を行う工作機械である。
- 2 CAEは、工作機械において工具の移動量や移動速度等の加工条件を、コンピュータを使用して数値で制御する方法である。
- 3 CADは、原案図の作成、設計計算、部品図及び組立図の作成と検図のような設計プロセス全般をコンピュータを使用して行うシステムである。
- 4 マシニングセンタは、コンピュータを使用した数値解析により、製品の機能、性能を評価、検証するためのシステムである。

2 生物育成に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 野菜の栽培に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は **4**。

- 1 イチゴは、バラ科の植物で、茎の節の根原基から不定根が伸び、肥大したものを苗とする。施肥量は10 a当たり、窒素15～20 kg、リン酸10～15 kg、カリ15～20 kgを目安とする。
- 2 ブッキーニは、ナス科の植物で、ペポカボチャの一種である。収量を増やすために人工受粉のほか、ホルモン剤を使い着花させることで更に増産が期待できる。堆肥を10 a当たり、2000 kgを施す。
- 3 キュウリは、ウリ科の植物で、単為結果しやすく、浅根性のため乾燥には弱い。35℃以上の高温や、5℃以下の低温にあうと生育障害が起こる。養分吸収量が多いので、堆肥や有機肥料を多く与え、追肥の回数も多くなる。
- 4 レタスは、キク科の植物で、種子の発芽に弱い光が必要な好光性の植物である。土のpHが6以上になると生育が悪くなるため、石灰の施肥は控える。10 a当たり、窒素10～30 kg、リン酸20～30 kg、カリ20～30 kgを施す。

[問 2] 連作障害に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は **5**。

- 1 連作障害には、土壌病害、線虫、塩類集積、土壌養分の欠乏などの原因があるが、線虫を原因とするものが最も多い。
- 2 連作障害を回避するために行われる輪作の基本形は、イネ科作物－マメ科作物－根菜類の組合せである。
- 3 マリーゴールドは、線虫の対抗植物として用いられ、ネコブセンチュウへの防除効果があるが、ネグサレセンチュウへの防除効果はない。
- 4 水分蒸発量が降水量を上回ると塩類集積が起こりやすいが、施設栽培は降雨の影響がないので塩類集積を回避することができる。

[問 3] 農林産物に関わる環境問題に関する次の記述**ア**～**エ**のうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**5**のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 砂漠化が進んだ例として、アメリカにおける輸出用家畜の大量飼育があげられる。それまで、コムギやトウモロコシ、ダイズなどの穀物類で被覆されていた農地を牧草地に転換したことが、土壌侵食を招いた。
- イ** 熱帯では、土壌有機物の分解が遅く、落ち葉もすぐに分解されないため、土壌に蓄えられる有機物にはゆとりが少ない。さらに、急激な人口増加や、輸出作物を大量に生産するために新たに森林を伐採したことが、森林の減少の要因の一つになっている。
- ウ** 日本は世界有数の熱帯木材輸入国で、熱帯林破壊に加担しているとの批判を受けた。そのため、熱帯地域の途上国における持続可能な森林経営を促進し、合法で持続可能に伐採された熱帯木材の貿易を促進している。
- エ** 江戸時代、農産物を生産する農村部と、食料を消費する都市部との間で、下肥は肥料産業を支え、物質循環社会の仕組みが確立していた。現代でも、家畜の糞尿や下水汚泥の堆肥化、バイオマス利用後の灰の活用により、域内循環と広域循環が融合されている。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 イ・ウ
- 4 イ・エ
- 5 ウ・エ

3

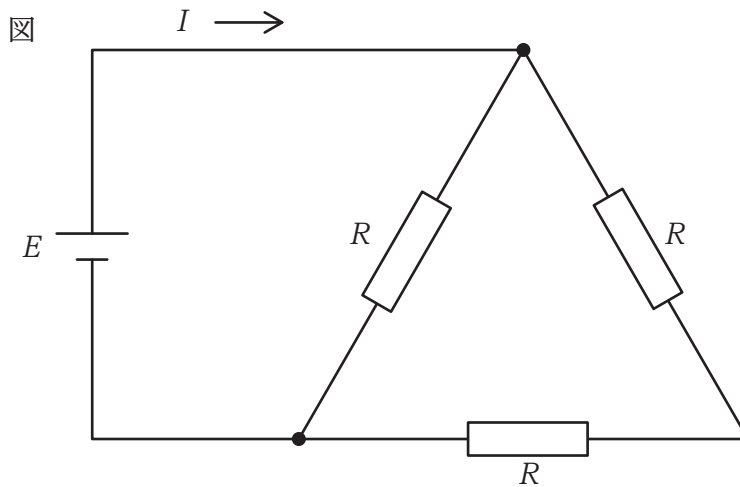
エネルギー変換に関する次の各問に答えよ。

〔問 1〕 発電に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は

7

- 1 水力発電は、水が高いところから流れ落ちる時の力を利用して水車を回し、水車と直結した発電機で電気を起こす発電方式である。エネルギー源を外国に依存せず供給でき、他の発電方式に比べて二酸化炭素の排出量が極めて少ないという利点があるが、発電量の調整が難しいという欠点がある。
- 2 火力発電は、ボイラで石炭などの燃料を燃やし、その際に発生する熱で高温、高圧の水蒸気を作り、蒸気力でタービンを回転させ、その回転を発電機に伝えて電気を起こす発電方式である。季節や時間帯によって大きく変動する電力需要に合わせた出力調整運転が可能という利点があるが、他の発電方式に比べて多くの二酸化炭素を排出するという欠点がある。
- 3 原子力発電は、原子炉の中でウランを核分裂させ、その際に発生する熱で高温、高圧の水蒸気を作り、蒸気力でタービンを回転させ、その回転を発電機に伝えて電気を起こす発電方式である。燃料のウラン資源が安定して得られ、高出力を得られるという利点があるが、他の発電方式に比べて二酸化炭素の排出量が多く、原子炉内で人体に有害な放射線が発生するという欠点がある。
- 4 太陽光発電は、光電池に太陽光を照射し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して電気を起こす発電方式である。エネルギー源が枯渇せず、他の発電方式に比べて発電効率が非常に高い、また二酸化炭素の排出量が少ないという利点があるが、天候の影響を受けやすく、夜間には発電できないという欠点がある。

[問 2] 次の図に示す回路図において、電源 E が 40V 、回路全体に流れる電流 I が 5A で、三つの抵抗 R が全て同一のものであるとき、 R の値は $[\Omega]$ である。



[問 3] 動力伝達の仕組みに関する記述として適切なものは、次の **1** ~ **4** のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 平歯車は、歯すじが軸に平行な直線である円筒歯車で、二軸の回転は平行で逆回転となる。時計の内部の機構に用いられる。
- 2 かさ歯車は、小歯車とかみ合う平らな板の一面に同型の歯を刻んだもので、回転運動を直線運動に変える。カメラの三脚や旋盤の往復台に用いられる。
- 3 ラックとピニオンは、二軸が直交している歯車で、回転を直角に伝える。ハンドドリルに用いられる。
- 4 ウォームギヤは、ウォームとかみ合うウォームホイールからなる一組の歯車の総称で、減速比が大きい。自転車のチェーンに用いられる。

4 情報に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、ある機械学習に関するものである。この機械学習の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

大脳皮質のニューロンの仕組みを人工的に模倣し、物体の認識などに応用したものを、ニューラルネットワークという。ネットワークの層を深くすることで非常に高い性能が出せる。

- 1 強化学習
- 2 ディープラーニング
- 3 教師あり学習
- 4 eラーニング

[問 2] 次の記述は、ある暗号化に関するものである。この暗号化の名称として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

WEBブラウザでWEBサイトを閲覧する通信を暗号化する仕組みのことで、クレジットカード番号や個人情報を入力するときに使用されている。

- 1 TCP/IP
- 2 WPA2
- 3 WEP
- 4 SSL/TLS

[問 3] 記憶装置や記憶媒体に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 ハードディスクは、硬質の磁気媒体でできた記憶装置で、動作中のハードディスクでは、ディスク板が高速回転する際に、ディスク板表面上に発生する空気の流れを利用してヘッドを浮かせているため、動作時の衝撃や振動に強い。
- 2 SSDは、フラッシュメモリを利用した、ハードディスクの代わりとして動作する記憶装置で、携帯用のノートパソコンなどに適している。ハードディスクと比べて、データの読み込みが速く、軽量だが、消費電力が高く、衝撃耐久性に劣る。
- 3 メモリーカードは、メモリをカード型のケースに収めた記憶媒体で、コンパクトフラッシュやSDカード、MOなど、多種の規格があり、ハードディスクなどに代わる記憶媒体として用いられる。
- 4 光ディスクは、レーザー光の反射率の違いなどを利用した、光学的な手段によって情報を読み出す円盤型の記憶媒体で、CDやDVD、ブルーレイディスクなどがあり、読み出しは非接触で行うため、耐久性に優れている。

特別支援教育の専門に関する問題

I 特別支援教育に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援教育に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 学校教育法では、特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による生活上の困難について支援を行うことを主な目的とすると規定されている。
- 2 学校教育法では、特別支援学校においては、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の要請に応じて、特別支援学級に在籍する幼児、児童等及び通級による指導を受けている幼児、児童等に限定して、必要な助言又は援助を行うよう努めるものと規定されている。
- 3 学校教育法施行規則では、特別支援学校の設備、編制その他設置に関する事項及び特別支援学級の設備編制は、第八章及び特別支援学校設置基準に定めるもののほか、別に定めると規定されている。
- 4 学校教育法施行規則では、校長は、特別支援学校に在学する児童等について個別の指導計画を作成するものとし、その作成に当たっては、当該児童等又はその保護者の意向を踏まえつつ、あらかじめ、関係機関等と当該児童等の支援に関する必要な情報の共有を図らなければならないと規定されている。

[問 2] 特別支援学校の教育課程に関する記述として、法令に照らして適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 特別支援学校の小学部の教育課程は、生活、国語、算数、音楽、図画工作及び体育の各教科、特別の教科である道徳、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動の10の教科によって編成するものとする。
- 2 特別支援学校の小学部、中学部においては、知的障害者である児童若しくは生徒又は複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合において特に必要があるときは、各教科、特別の教科である道徳及び自立活動の全部又は一部について合わせて授業を行うことができるが、特別活動はできない。
- 3 特別支援学校において、複数の種類の障害を併せ有する児童若しくは生徒を教育する場合又は教員を派遣して教育を行う場合において、特に必要がないときでも、特別の教育課程によることができる。
- 4 特別の教育課程による場合において、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用することが適当でないときは、当該学校の設置者の定めるところにより、他の適切な教科用図書を使用することができる。

[問 3] 「新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議（報告）」（新しい時代の特別支援教育の在り方に関する有識者会議 令和3年1月）に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 副次的な籍等を活用した居住する地域の学校との交流及び共同学習が継続的に行われるためには、特別支援教育支援員を中心とした学校間や家庭等との連携強化や特別支援教育コーディネーターの活用が求められる。
- 2 特別支援学校の教師には、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等を十分把握して、これを各教科等や自立活動の指導等に反映できる幅広い知識・技能の習得や、学校内外の専門家等とも連携しながら専門的な知見を活用して指導に当たる能力が必要である。
- 3 特別支援学校は、障害のある子供やその家族が避難するための福祉避難所となることも想定されるが、その際には、個々の特別支援学校の事情に留意することなく、地方公共団体が、人材の確保や備蓄等について必要な支援を行うことを検討する必要がある。
- 4 これまで、特別支援教育においては、ICTの活用が積極的に行われてきておらず、各教科等の指導においては、ICTを使用することを目的とした授業作りから始めることが重要である。

Ⅱ 学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領総則の「児童又は生徒の調和的な発達の支援」に関する記述ア～エのうち、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 。

ア 主に集団の場面で必要な指導や援助を行うカウンセリングと、個々の児童又は生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うガイダンスの双方により、児童又は生徒の発達を支援すること。

イ 児童又は生徒が、自己の存在感を実感しながら、よりよい人間関係を形成し、有意義で充実した学校生活を送る中で、現在及び将来における自己実現を図っていくことができるよう、児童理解又は生徒理解を深め、学習指導と関連付けながら、生徒指導の充実を図ること。

ウ 児童又は生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、総合的な学習の時間を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

エ 児童又は生徒が、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用し、もてる能力を最大限伸ばすことができるよう、生涯学習への意欲を高めるとともに、社会教育その他様々な学習機会に関する情報の提供に努めること。

1 ア・イ

2 ア・ウ

3 ア・エ

4 イ・ウ

5 イ・エ

6 ウ・エ

[問 2] 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の「各教科」における、次のア～エの特別支援学校において配慮する事項に関する記述として適切なものは、下の 1～4 のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが 、イが 、ウが 、エが 。

- ア 視覚障害者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校
- イ 聴覚障害者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校
- ウ 肢体不自由者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校
- エ 病弱者である児童・生徒に対する教育を行う特別支援学校

- 1 児童・生徒の身体の動きや意思の表出の状態等に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- 2 児童・生徒が場の状況や活動の過程等を的確に把握できるよう配慮することで、空間や時間の概念を養い、見通しをもって意欲的な学習活動を展開できるようにすること。
- 3 児童・生徒の身体活動の制限や認知の特性、学習環境等に応じて、教材・教具や入力支援機器等の補助用具を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。
- 4 体験的な活動を通して、学習の基盤となる語句などについての的確な言語概念の形成を図り、児童・生徒の発達に応じた思考力の育成に努めること。

Ⅲ 次の事例を読み、下の各問に答えよ。

生徒Aは、①発達障害のある中学1年の生徒である。以下のような状況がしばしば起こる。

生徒Aの様子

- ・ 書かれた文章を読んだり、文字を書いたりすることができる。
- ・ 忘れ物や物をなくすことが多く、学習用品を整理整頓することが難しい。
- ・ 思ったことをそのまま口に出してしまい、友達とトラブルを起こすことがある。
- ・ 教室では、着席していても大きく身体を常に動かしており、②姿勢が大きく崩れ、活動を継続できなくなることがある。
- ・ 国語や数学の学習では、教師の話や板書の内容を的確に捉えることが難しく、学習を進めることが困難なことがある。
- ・ 保健体育の授業が好きで興味をもって学習に取り組むことができるが、教師が説明をしている間に、活動を始めようと立ち上がって動き出したり、ゲームで勝ちたいという気持ちが先だって、ルールを守ることができなかつたりすることがある。

(「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)、「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」から作成)

[問 1] 下線部①について、生徒Aの発達障害の名称と、生徒Aに対してアセスメントのために実施するウェクスラー式知能検査との組合せとして最も適切なものは、次の1～6のうちではどれか。解答番号は 。

	発達障害の名称	ウェクスラー式知能検査
1	学習障害	WAIS-IV
2	学習障害	WISC-IV
3	自閉症	WAIS-IV
4	自閉症	WPPSI-III
5	ADHD	WISC-IV
6	ADHD	WPPSI-III

[問 2] 下線部②について、次の記述**ア**～**エ**のうち、生徒Aの障害の特性等に配慮した指導として正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 姿勢が崩れたときに、すぐに姿勢を正すように教師が叱責する。
- イ** 姿勢のチェックポイントを示したイラスト等を使い、自分で確認できるようにする。
- ウ** 座面の滑りにくい椅子を準備し、姿勢が崩れにくいようにする。
- エ** 崩れた姿勢のイラストにバツ印を付けて、姿勢が崩れたときに執ように繰り返し指導する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 3] 生徒Aに対して、指導目標を「一定時間落ち着いて、学習に取り組む」と設定した。次の記述**ア**～**エ**のうち、この目標を達成するために生徒Aの障害の特性等に配慮した指導として、正しいものを選んだ組合せとして適切なものは、下の**1**～**6**のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 刺激を統制した落ち着いた環境で、必要なことに意識を向けられるようにする。
- イ** 視知覚の特性で文字の判別が困難なため、文字間や行間を大きく広げて板書する。
- ウ** 注目すべき箇所を色分けしたプリントを用意し、注目しやすくする。
- エ** カレンダーや学級通信、お知らせなどを、黒板の周囲にできるだけ多く掲示する。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

IV 障害に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 視覚障害の視機能評価に関する記述として適切なものは、次の 1～4 のうちのどれか。

解答番号は 。

- 1 PL法は、低年齢や知的障害などで通常の検査ができないときに行う方法で、判別できる縞の幅を視角で表し視力に換算する検査である。
- 2 遠見視力検査は、3mの距離から1個ずつ提示できる遠用ランドルト単独視標を用いて視力を測る検査である。
- 3 最小可読視標の検査は、ドットカードを用いて30cmの距離から最も見やすい小さな視標を見分けることができるかを行う検査である。
- 4 近見視力検査は、50cmの距離から1個ずつ提示できる近見用ランドルト単独視標を用いて視力を測る検査である。

[問 2] 聴覚障害における言語指導に関する次の記述ア～エのうち、「聴覚障害教育の手引 言語に関する指導の充実を目指して」（文部科学省 令和2年3月）に照らして、正しいものを選んで組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 。

- ア** 生活の言語化は、食事や着替えなど日常の生活行動を通して言語を学習させる言語指導の方法である。指導者と保護者とで日々密に連絡を取り合い、指導者の指示やアドバイスによって保護者が家庭で実践する方法が一般的である。
- イ** わたりの指導は、聴覚学習、発音指導、キューサイン、文字、指文字の活用などを通じて、手話の一つ一つの音を意識させる指導である。小学校段階以降に行い、日本語の読み書きにつなげていく。
- ウ** 全体法は、言葉を構成している形を覚えさせ、表出できるようにすることを目的とする指導法である。それに対し、要素法は、意味や概念や経験と、言葉とを結び付けることを目的とする指導法である。言葉の学習には両者の指導法の理念が必要である。
- エ** 音韻意識は、例えば、単語を音節に分解したり、単語から特定の音節を抽出したりする能力である。指文字やキューサインといった視覚的情報も音韻意識形成の有効な手掛かりとなる。仮名文字の習得は、音韻意識の形成と密接に関連している。

- 1 ア・イ
- 2 ア・ウ
- 3 ア・エ
- 4 イ・ウ
- 5 イ・エ
- 6 ウ・エ

[問 3] 摂食機能に障害のある肢体不自由の児童・生徒に対する摂食指導に関する次の記述ア～エを、摂食機能の発達段階の順に並べたものとして適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- ア やわらかくて形がある物をかじり取る練習をして、一口量の感覚を覚えさせながら、徐々に硬い物にして、いろいろな硬さの経験を増やす。
- イ スプーン上に、ある程度の大きさで、舌で押しつぶせるほどの硬さの食物をのせ、口唇の閉鎖を促しながら捕食させる。
- ウ 手づかみ食べを促すため、握りやすい食物を使い、口の真ん中から一口量かじり取るようにし、顔の正面から食物を取り込めるように、肘関節や手指関節を介助する。
- エ 手指で物を握ったり離したり、手に持ちやすい玩具を口に運ぶなどして口と手の協調を指導する。

- 1 ア → イ → ウ → エ
- 2 ア → イ → エ → ウ
- 3 イ → ア → ウ → エ
- 4 イ → ア → エ → ウ

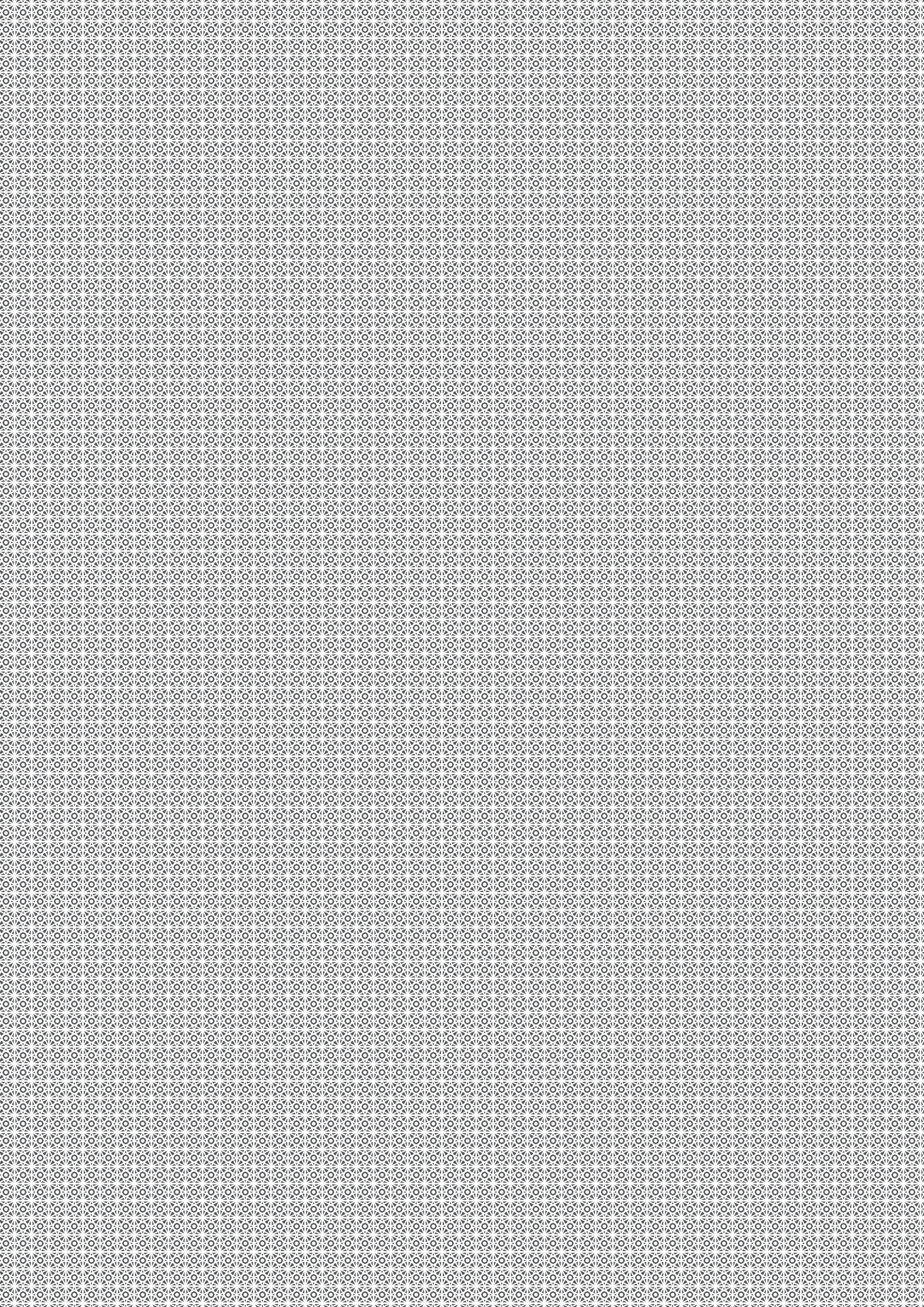
[問 4] 知的障害のある児童・生徒の学習上の特性を踏まえた対応に関する記述として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 職業教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能、態度及び人間性等が育つよう指導し、その際に、多様な進路や将来の生活について関わりのある指導内容を組織する。
- 2 生活に結び付いた具体的な活動を学習活動の中心に据え、実際の状況下で指導するとともに、児童・生徒の失敗経験を豊富にすることで、主体的に活動に取り組む意欲を育てる。
- 3 児童・生徒の興味や関心、得意な面よりも課題や苦手な面に着目し、教材・教具、補助用具やジグ等を工夫するとともに、目的が達成しやすいように、段階的な指導を行うなどして、児童・生徒の学習活動への意欲が育つよう指導する。
- 4 児童・生徒一人一人の発達の側面に着目し、意欲や意思、情緒の不安定さなどの課題に応じるとともに、児童・生徒の発達年齢に即した指導を徹底する。

[問 5] 次の記述は、ある疾患に関するものである。この疾患の名称として適切なものは、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

発熱、目の充血、イチゴ舌、頸部リンパ節の腫脹、発疹、四肢の浮腫などを主要症状とする原因不明の疾患である。心臓への合併症として冠状動脈瘤が挙げられる。

- 1 川崎病
- 2 血友病
- 3 ネフローゼ症候群
- 4 ペルテス病



3 問題文中の $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などの $\boxed{\quad}$ には、数字又は符号 (-) が入ります。次の(1)~(4)の方法でマークしてください。

(1) $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……の一つ一つは、それぞれ1~9、0の数字又は符号(-)のいずれか一つに対応します。それらを $\boxed{2}$ 、 $\boxed{3}$ 、 $\boxed{4}$ 、……で示された解答欄にマークしてください。

例えば、 $\boxed{234}$ に -84 と解答する場合には、次の(例2)のようにマークします。

(例2)

解答番号	解答欄
$\boxed{2}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{3}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ● ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{4}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

なお、同一の問題文中に $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ などが2度以上現れる場合、原則として、2度目以降は、 $\boxed{2}$ 、 $\boxed{34}$ のように細字で表記します。

(2) 分数形で解答する場合は、符号は分子に付け、分母に付けてはいけません。また、分数は既約分数で答えてください。

例えば、 $\frac{\boxed{56}}{\boxed{7}}$ に $-\frac{4}{5}$ と解答する場合には、 $\frac{-4}{5}$ として、次の(例3)のように

マークします。

(例3)

解答番号	解答欄
$\boxed{5}$	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ●
$\boxed{6}$	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖
$\boxed{7}$	① ② ③ ④ ● ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖

(3) 小数の形で解答する場合は、特に指示されていなければ、指定された桁数の一つ下の桁を四捨五入して答えてください。また、必要に応じて、指定された桁まで⑩にマークしてください。

例えば、 $\boxed{8.910}$ に 2.6 と解答する場合には、2.60 として答えてください。

(4) 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。

問題番号		解答番号	正答	配点	備考
大問	小問				
1	問1	1	2	5	
	問2	2	1	5	
	問3	3	3	5	
2	問1	4	3	5	
	問2	5	2	5	
	問3	6	5	5	
3	問1	7	2	5	
	問2	8	1	5	完全解答
		9	2		
問3	10	1	5		
4	問1	11	2	5	
	問2	12	4	5	
	問3	13	4	5	

問題番号		解答番号	正答	配点	備考	
大問	小問					
I	問1	14	3	3		
	問2	15	4	3		
	問3	16	2	3		
II	問1	17	5	3		
	問2	ア	18	2	1	
		イ	19	4	1	
		ウ	20	1	1	
エ		21	3	1		
III	問1	22	5	3		
	問2	23	4	3		
	問3	24	2	3		
IV	問1	25	1	3		
	問2	26	3	3		
	問3	27	4	3		
	問4	28	1	3		
	問5	29	1	3		